

森林環境保全基金事業実施箇所調書		実施年度	H28年度
事業名	荒廃森林再生事業	事業主体	富士北麓森林組合
箇所名	富士吉田市上暮地姥ヶ沢地内	事業内容	間伐
事業概要	樹種	スギ、ヒノキ、カラマツ	事業の必要性 当箇所は、植栽後に間伐等の施業が適切に行われなかったため、成長の悪い立木が混みあい、昼間でも薄暗いような状態であった。 このため、本事業により間伐を実施し、下層植生の回復を促し、針広混交林への転換を図る。
	林齢	52年生	
	実施面積	0.66 ha	
	作業道延長	—	
	事業費	140,247 円	

【事業実施後の効果】
 ・混み合っていた林内にすっきりとした空間ができ、明るくなった。
 ・下層植生による林床部の被覆により、森林の持つ多様な公益的機能の発揮が期待できる。

【着工前】



【完成】



事業の実施状況

森林環境保全基金事業実施箇所調書		実施年度	H28年度
事業名	荒廃森林再生事業	事業主体	富士北麓森林組合
箇所名	南都留郡山中湖村平野霜窪、皆形地内	事業内容	間伐
事業概要	樹種	ヒノキ	事業の必要性 当箇所は、植栽後に間伐等の施業が適切に行われなかったため、成長の悪い立木が混みあい、昼間でも薄暗いような状態であった。 このため、本事業により間伐を実施し、下層植生の回復を促し、針広混交林への転換を図る。
	林齢	30年生	
	実施面積	1.75 ha	
	作業道延長	—	
	事業費	498,340 円	

【事業実施後の効果】
 ・混み合っていた林内にすっきりとした空間ができ、明るくなった。
 ・下層植生による林床部の被覆により、森林の持つ多様な公益的機能の発揮が期待できる。



【着工前】



【完成】



事業の実施状況



森林環境保全基金事業実施箇所調書				実施年度	H28年度
事業名	里山再生事業			事業主体	中央森林組合
箇所名	甲府市上帯那町岩の下地内			事業内容	除伐
事業概要	樹種	広葉樹		事業の必要性	当箇所は、灌木類や形質不良木等が多い不健全な森林であった。 このため、本事業により除伐・集積を行うことにより、明るく整然とした森林に再生し、里山林の景観保全を図る。
	林齢	40年生			
	実施面積	0.31 ha			
	作業道延長				
事業費	142,404 円				
<p>【事業実施後の効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不良木等が除去され、明るく見通しの良い森林になった。 ・放置されていた倒木が整然と集積され里山林としての景観が良くなった。 					
<p>【着工前】</p> 					
<p>【完成】</p> 					

資料 3

平成 28 年度 森林環境保全基金事業 実施箇所調書

②里山再生事業

事業の実施状況

森林環境保全基金事業実施箇所調書				実施年度	H28年度
事業名	里山再生事業			事業主体	中央森林組合
箇所名	笛吹市 境川町 藤袋 牛居沢 地内			事業内容	除伐・集積
事業概要	樹種	広葉樹		事業の必要性	当箇所は、耕作地に隣接する広葉樹林であるが、つるや灌木の繁茂により森林内が鬱閉し、風倒木が放置される等、不健全な状態であった。このため、本事業により除伐・集積を行うことで、明るく整然とした森林に再生し、里山林の景観保全を図る。
	林齢	43 年生			
	実施面積	6.13 ha			
	作業道延長	—			
	事業費	2,496,209 円			
事業の実施状況	【事業実施後の効果】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・つるや不用木が除去され、明るく風通しの良い森林になった。 ・放置されていた倒木が整然と集積され、里山林としての景観が良くなった。 ・視界が開け、山に入りやすくなった。 				
事業の実施状況	【着工前】				
					
事業の実施状況	【完成】				
					

森林環境保全基金事業実施箇所調書				実施年度	H28年度
事業名	里山再生事業			事業主体	身延町森林組合
箇所名	南巨摩郡身延町梅平豆畝地内			事業内容	侵入竹駆除
事業概要	樹種	スギ		事業の必要性	当箇所は、梅平地区に隣接するスギ人工林であるが、侵入竹により森林内が鬱閉し不健全であった。このため、本事業により侵入竹の駆除・集積を行うことで、明るく整然とした森林に再生し、里山林の景観保全を図る。
	林齢	45 年生			
	実施面積	1.54 ha			
	作業道延長	—			
	事業費	2,143,385 円			
事業の実施状況	【事業実施後の効果】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・侵入竹が除去され、明るく風通しの良い森林になった。 ・伐倒した竹が整然と集積され、里山林としての景観が良くなった。 				
事業の実施状況	【着工前】				
					
事業の実施状況	【完成】				
					

森林環境保全基金事業実施箇所調査			実施年度	H28年度
事業名	里山再生事業		事業主体	北都留森林組合
箇所名	上野原市鶴島飯米場外地内		事業内容	除伐
事業概要	樹種	広葉樹	事業の 必要性	当箇所は、集落に近接する広葉樹林であるが、灌木等の繁茂により森林内が鬱閉し、不健全な状態であった。 このため本事業により除伐を行うことで、明るく整然とした森林に再生し、里山林の景観保全を図る。
	林齢	36～60年生		
	実施面積	8.18 ha		
	作業道延長	—		
事業費	2,244,003 円			

【事業実施後の効果】
 ・不用木が除去され、明るく風通しの良い森林になった。
 ・視界が開け、山に入りやすくなった。

事業の実施状況

【着工前】



【完成】



森林環境保全基金事業実施箇所調査書			実施年度	H28年度
事業名	広葉樹の森づくり推進事業		事業主体	中央森林組合
箇所名	甲斐市安寺古村奥地内		事業内容	地拵え、植栽、獣害防除
事業概要	樹種	コナラ、ヤマザクラ	事業の必要性	当箇所は、植生被覆率が少なく、天然更新による森林への回復が困難な状態であった。このため、本事業において広葉樹植栽を行い、公益的機能が発揮される安定した森林への移行を図る。
	林齢	1年生		
	実施面積	0.53 ha		
	作業道延長			
事業費	2,143,795 円			

資料 3

平成 2 8 年度 森林環境保全基金事業 実施箇所調査書

③広葉樹の森づくり推進事業

事業の実施状況



【事業実施後の効果】
 ・植栽木の活着は良好であり、獣害防除（防護柵）の施工により獣害防止が有効に機能していたため、健全な植栽木の成長が期待出来る。
 ・今後数年間は下刈を実施しながら、生育状況の経過観察を行う。

【着工前】



【完成】



森林環境保全基金事業実施箇所調査			実施年度	H28年度
事業名	広葉樹の森づくり推進事業		事業主体	中央森林組合
箇所名	笛吹市 境川町大黒坂 小林 地内		事業内容	地拵、植栽、獣害防除
事業概要	樹種	ケヤキ	事業の必要性	当箇所は、伐採後の造林が行われずササ類や低木性樹種が繁茂し森林への回復が見込めない箇所である。 このため、本事業において広葉樹の植栽を行い、公益的機能が高度発揮される安定した森林への移行を図る。
	林齢	1年生		
	実施面積	3.07 ha		
	作業道延長	—		
	事業費	6,869,562 円		
事業の実施状況	【事業実施後の効果】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽した苗木の活着が良く、獣害防除(防護柵)も有効に機能しており、安定した広葉樹林の成林が期待できる。 ・今後、下刈を実施しながら、生育状況の経過観察を行う。 			
事業の実施状況	【着工前】			
				
事業の実施状況	【完成】			
				

森林環境保全基金事業実施箇所調査			実施年度	H28年度
事業名	広葉樹の森づくり推進事業		事業主体	南都留森林組合
箇所名	上野原市秋山金破美地内		事業内容	植栽、獣害防除
事業概要	樹種	クヌギ、コナラ	事業の必要性	当箇所は、所有者の手入れが行き届かない広葉樹林であり、そのまま放置すると荒廃がさらに進行する恐れがある。 このため、本事業において広葉樹の植栽及び苗木の食害防止ネットを設置することで、公益的機能が発揮される安定した森林への移行を図る。
	林齢	1年生		
	実施面積	1.34 ha		
	作業道延長	—		
	事業費	5,625,985 円		
事業の実施状況	【事業実施後の効果】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・造林整備を実施したことで、山林の荒廃が食い止められた。 ・植栽木の活着状態は概ね良く、食害防止ネットも有効に機能している。 			
事業の実施状況	【着工前】			
				
事業の実施状況	【完成】			
				

平成28年度 森林環境保全基金事業 実施箇所調書

- ④ 甲斐の木づかい推進事業補助金
森林体験活動支援事業費補助金
地域の森づくり活動支援事業費補助金

森林環境保全基金事業実施箇所調書		実施年度	H28年度		
事業名	甲斐の木づかい推進事業費補助金				
補助対象	昭和町				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・県産材で作られた机・椅子を普通の学校生活で使用することで、子供たちに「県産材を利用する」という意識をもたせる。 ・県産材の利用促進を図る。 				
内容	施設名	備品名	数量(組)	補助金額(円)	備考
	常永小学校	机・椅子のセット	200	2,400,000	
事業の実施状況	【導入後の感想】 (教員) ・天板が白い板のため、明るく柔らかい教室の雰囲気になり、とても良い。 ・高さが簡単に調節できるため、全学年同一の企画で統一することができ、利便性がよい。 (児童) ・天板が広いので、いろいろな学習用具をおいてもゆとりがあり、使いやすい。 ・机が軽いので、掃除の時に机が運びやすくてよい。				
	【使用状況】  				

森林環境保全基金事業実施箇所調書		実施年度	H28年度		
事業名	甲斐の木づかい推進事業費補助金				
補助対象	上野原市				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・県産材の机・いすを児童が使用することで木製品に親しみを持ち、今後の県産材の利用拡大を図るため。 				
内容	施設名	備品名	数量(組)	補助金額(円)	備考
	上野原こども園	机・椅子のセット	58	1,170,000	
事業の実施状況	【導入後の感想】 (職員・保育士・保護者) ・木の質感が良い。 ・木製の机・椅子の方がやさしい印象を受ける。 ・座面・背もたれに児童の体に合わせたカーブがついているため、すわり心地がよさそう。 ・色が暗めで、落ち着いた印象を受ける。				
	【使用状況】  				

森林環境保全基金事業実施箇所調書				実施年度	H28年度
事業名	森林体験活動支援事業費補助金	助成団体名	なでしこ保育園		
事業の目的	子どもたちが、森林の中で様々な体験活動を行い、森づくりの重要性や必要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育む。				
内容	活動場所	活動日	活動内容	参加人数	交付金額(円)
	キープ森の幼稚園	11月1日	森林散策、森林学習	49名	116,600
事業の実施状況	【事業実施による効果】 指導員のもと森林を散策しながら木々や落ち葉を観察して、樹木の種類を学んだり、落ち葉やどんぐりを集めるなど、森林の中で五感を使って自然を感じることができ、児童にとって貴重な体験となった。				
	【活動状況】  				

森林環境保全基金事業実施箇所調書				実施年度	H28年度
事業名	森林体験活動支援事業費補助金	助成団体名	竜王幼稚園		
事業の目的	子どもたちが、森林の中で様々な体験活動を行い、森づくりの重要性や必要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育む。				
内容	活動場所	活動日	活動内容	参加人数	交付金額(円)
	富士山5合目(お中道めぐり・奥庭自然公園散策)	7月15~16日	森林散策、森林学習	25名	139,700
事業の実施状況	【事業実施による効果】 自然解説員の指導のもと富士山五合目周辺で、高山植物や虫の観察を行った。コケや岩苔の感触、風の音や鳥のさえずり、花や葉の香りなど、森林の中で五感を使って感じることで、自然を大切にすることを育むことができた。				
	【活動状況】  				

森林環境保全基金事業実施箇所調書			実施年度	H28年度	
事業名	地域の森づくり活動支援事業費補助金		助成団体名	甘利山倶楽部	
事業の目的	多くの県民が、森づくり活動を通じて、森林の果たしている役割について理解を深め、社会全体で森林を守り育てる気運の醸成を図る。				
内容	活動場所	活動日	活動内容	参加人数	交付金額（円）
	斐崎市旭町地内 （甘利山財産区有林）	5月～11月	除伐、獣害防除	284名	69,100
<p>【事業実施による効果】</p> <p>甘利山山頂付近の草原地帯に生息する希少野生植物をシカによる食害から守る活動として成果を上げ、ボランティアによる森づくりの模範的な活動となっている。</p>					
<p>【活動状況】</p>					
事業の実施状況					
					

森林環境保全基金事業実施箇所調書			実施年度	H28年度	
事業名	地域の森づくり活動支援事業費補助金		助成団体名	杓子山観光協会	
事業の目的	多くの県民が、森づくり活動を通じて、森林の果たしている役割について理解を深め、社会全体で森林を守り育てる気運の醸成を図る。				
内容	活動場所	活動日	活動内容	参加人数	交付金額（円）
	富士吉田市大明見地内 （大明見財産区有林）	7月～12月	植栽、下刈、除伐、歩道整備等	12名	205,000
<p>【事業実施による効果】</p> <p>皆伐跡地や沢沿いの無立木地に広葉樹を植栽することで、森林の有する水土保全機能の向上に努めた。また、荒廃林に作業道を整備するなど、継続的に森林整備を実施できるよう、作業環境を整えた。</p>					
<p>【活動状況】</p>					
事業の実施状況					
	